

授業コード	2121181nh1	科目ナンバリング	
授業名	戦争と平和の歴史／歴史学A		
英文名	History of War and Peace /History A		
単位数	2.0単位		
開講年度・学期	2026年度前期	曜日・時限	水曜3限
実施教室			
授業形態			
メディア科目			
オープン科目			
学位授与方針（DP）			
担当教員(先頭者が主担当)	中島 浩貴		

目的概要	この講義では、世界を見ていくのに重要な戦争と平和の問題を軸に歴史をみていきます。1789年から1990年を中心に、フランス、プロイセン=ドイツ、イタリア、そして日本、アメリカなど世界を対象とします。近現代の世界史では、戦争と平和の問題が社会に大きな影響を与えてきました。最新の研究動向を踏まえながらも、わかりやすく話しながら、広い視野を持ってみていきます。
達成目標	(1) 近現代の歴史的状況を概観できること。 (2) 近代から現代にかけての歴史を理解し、今現在との関連性を考察できること。 (3) 近現代の世界史の構造を把握し、日本との関係を説明できること。
関連科目	関連科目として、「歴史理解の基礎／歴史学」「グローバル時代の文化・歴史／欧米文化研究」「インテレクチュアルヒストリー特論」「人間科学プロジェクト／教養ゼミナール」「多文化コミュニケーション」が該当します。
履修条件	とくになし。
教科書名	とくになし
参考書名	新谷卓、中島浩貴、鈴木健雄編著『歴史のなかのラディカリズム』彩流社、2021年。 トーマス・キューネ、ベンヤミン・ツィーマン編著、中島浩貴・今井宏昌・柳原伸洋ほか訳『軍事史とは何か』原書房、2017年など、講義中に詳しく述べる。
評価方法	授業中提出課題20パーセント+レポート80パーセント
課題に対するフィードバック方法	(第13回) 第14回で実施するレポートに関する事前説明と、それまでの提出課題に関する全体講評を行う。 (オンデマンド回) 第14回で実施したレポートに関する採点評価に関する説明を行う。
自由記載欄	
アクティブラーニングの実施	講義では相互コミュニケーションを重視します。 教員、学生間でできるだけ意思の疎通をはかるようにし、基本的な知識の確認、疑問点などを通して、理解の促進と深化を図ります。 講義内容に関する興味関心を高めるため、簡単なビブリオバトルを行う予定です。
ICTの活用	この科目はオープン科目として設定されており、鳩山及び千住校舎の学生が履修可能です。 講義形態は、Zoomのオンライン配信を予定しています。講義の受講に関しては、初回に詳細にアナウンスします。  ※Zoomの接続情報については、下記Boxリンク、またはWebClass掲載情報をご確認ください。  <a href="https://tdu.box.com/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx">https://tdu.box.com/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</a> (URLは4月(9月)初旬までに設定予定です)
実践的教育科目	該当せず。
オンデマンド講義情報	【学習時期】 14回目の講義終了後、10日以内。詳細は講義中に指摘します。 【学習内容】 講義のまとめ(90分) 【教材の視聴方法】 Webclassから閲覧できるように設定します。14回目の講義終了後に、教材を視聴してください。 【事前・事後学習】 オンデマンド教材で、提示された課題を提出してください。

テーマ・学習内容	
第1回	授業概要について／戦争と平和の近現代史 【事前・事後学習】 シラバスを確認し、講義内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。また、講義に関係する文献を探しておくこと。(計190分)
第2回	フランス革命戦争とナポレオン戦争 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読み、ビブリオバトルの準備をしておくこと。(計190分)
第3回	ウィーン体制以後の世界と1848/49年革命、イタリアの統一 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関係する文献を読んでおくこと。(計190分)
第4回	戦争と国民国家①(ドイツ統一戦争とアメリカ南北戦争——軍国主義と総力戦の萌芽) 【事前・事後学習】 講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ビブリオバトルの準備をしておくこと。講義中に見たドキュメンタリー・映画について、内容をよく確認してください。(計190分)

第5回	戦争と国民国家②（日清戦争、日露戦争） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。（計190分）
第6回	第一次世界大戦前の国際社会の緊張（平和主義の勃興と戦争肯定論の高まり） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。（計190分）
第7回	第一次世界大戦（1）開戦過程と「戦時」 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。ヒブリオバトルの準備をしておくこと。（計190分）
第8回	第一次世界大戦（2）…イタリアと第一次世界大戦、ドキュメンタリー 【事前・事後学習】講義中に見たドキュメンタリー・映画について、内容をよく確認してください。講義に関する文献を読んでおくこと。（計190分）
第9回	ヴェルサイユ体制、平和主義から「ファシズム」へ 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。ヒブリオバトルの準備をしておくこと。（計190分）
第10回	満州事変から日中戦争、アジア・太平洋戦争へ 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義中に見たドキュメンタリー・映画について、内容をよく確認してください。（計190分）
第11回	第2次世界大戦（1） 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。講義に関する文献を読んでおくこと。（計190分）
第12回	第2次世界大戦（2）ドキュメンタリー、映画で見る過去 【事前・事後学習】講義中に見たドキュメンタリー・映画について、内容をよく確認してください。講義に関する文献を読んでおくこと。（計190分）
第13回	冷戦と現代 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。（計190分）
第14回	前期の総復習、レポート 【事前・事後学習】講義ノートを確認し、内容について教科書や課題図書等を用いて予習・復習してください。（計190分）
質問への対応（オフィスアワー等）	鳩山校舎1号館4階1444研究室（中島浩貴研究室）で受け付けます。オフィスアワーは月曜3限です。メールやZoomでの相談も可能です。講義や会議がある場合がありますので、事前に連絡をお願いします。
E-Mail address	hirokinakajima@mail.dendai.ac.jp
備考	この科目はオープン科目として設定されており、鳩山及び千住校舎の学生が履修可能です。講義形態は、教室とZoomのハイフレックス形式となります。講義の受講に関しては、初回に詳細にアナウンスしますので、千住校舎で履修する学生は、Webclass記載のURLからログインしてください。講義が中心です。わかりやすく話しますが、わからないことがあれば講義中にかまわず質問してください。歓迎します。なお、補助として映像を活用します。
J A B E E	RG学系JABEEプログラムの履修生は、アセスメント・ポートフォリオで、「学習・教育到達目標」を参照の上、当該授業科目と「学習・教育到達目標」との関係を「カリキュラムマップ」で確認すること。なお「学習・教育到達目標」の達成度については、「JABEEプログラム 学習の手引」内の「達成度の評価方法・評価基準」を参照して確認すること。

学期末試験＜事務部記入＞	
試験方法	
試験実施日時	
参照可否	
着席方法	
レポート提出先	
レポート提出期限日時	
備考	